

カーリング科学シンポジウム2023

日時：2023年3月20日（月）10:00～17:00

場所：電気通信大学100周年記念ホール（調布市）

形式：ハイブリッドを予定

主催：北見工業大学・冬季スポーツ科学研究推進センター，電気通信大学・エンターテインメントと認知科学研究ステーション

共催：独立行政法人日本スポーツ振興センター・ハイパフォーマンススポーツセンター



スポーツ競技に対するデータサイエンスやAIの導入、利用が始まっています。カーリングにおいても、戦術・戦略面をにフォーカスした研究や技術利用が徐々に認知されるようになってきました。しかし、トップアスリートの繊細な感覚や高度なスキルに即した高度な技術的支援を実現するためにはまだ多くのハードルが残されています。これらを乗り越えるためには、戦術・戦略に関するトップアスリートの観点や思考過程、さらには精神状態などを詳細に把握して分析する必要があります。そこで、本シンポジウムでは、トップアスリートと研究者が集い、今後のより高度なカーリング科学について議論したいと思います。

カーリング科学シンポジウム2023 実行委員会

特別講演 (1)

講演タイトル：「カーリングストーンはなぜ曲がるのか (仮)」

- ・ 村田 次郎(むらた じろう)
- ・ 立教大学理学部 教授
- ・ 略歴 1999年京都大学大学院理学研究科単位取得退学。博士(理学)。米国ブルックヘブン研究所、理化学研究所を経て、2003年立教大学講師、2005年より現職。カナダ・プリティッシュコロンビア大学訪問研究員。余剰次元探索のための近距離重力実験の他、カナダ・トライアムフ研究所での時間反転対称性の研究にも取り組んでいる。

特別講演 (2)

講演タイトル：「トップアスリートを支えるスポーツ科学 (仮)」

- ・ 窪 康之(くぼ やすゆき)
- ・ 国立スポーツ科学センター スポーツ科学・研究部 副主任研究員
- ・ 略歴 1971年生。静岡県出身。筑波大学大学院博士課程体育科学研究科を満期退学後、JISSの契約研究員となり、主に競泳日本代表選手に対する動作分析サポートに従事した。2010年から現職。現在はJISSのサポート活動全体を統括している。

特別参加 (パネル討論)

講演タイトル：「カーリングの将来とデータサイエンスの接点 (仮)」

- ・ 平田 洸介(ひらた こうすけ)
- ・ KIT CURLING CLUB / 株式会社アイエンター
- ・ 略歴 1992年生。北海道出身。2017年北見工業大学大学院博士前期課程修了。2017年株式会社アイエンター入社。2018年平昌オリンピックにカーリング男子日本代表として出場。その後、故郷北見市に戻りKIT CURLING CLUBを結成。2023年日本カーリング選手権大会準優勝を果たした。競技と仕事のデュアルキャリアを実践し、五輪メダル獲得を目指している。

プログラム

時間	セッション	内容
9:30		開場
10:00 10:10	オープニング	開会挨拶
10:10 11:10	特別講演	「カーリングストーンはなぜ曲がるのか(仮)」 村田次郎教授(立教大学)
11:10 12:10	特別講演	「トップアスリートを支えるスポーツ科学(仮)」 窪 康之氏(国立スポーツ科学センター スポーツ科学・研究部)
12:10 13:30		昼休憩
13:30 15:00	研究発表	準備中
15:00 16:30	パネル討論	「カーリングの将来とデータサイエンスの接点(仮)」 平田洸介(KIT CURLING CLUB), 相原伸平(国立スポーツ科学センター), カーリングを科学するプロジェクトメンバー
16:30 16:45	クロージング	閉会挨拶

カーリング科学シンポジウム2023 実行委員会

実行委員長

- ・ 伊藤 毅志(電気通信大学)

実行委員

- ・ 相原伸平(国立スポーツ科学センター)
- ・ 河村隆(信州大学)
- ・ 竹川佳成(公立はこだて未来大学)
- ・ 榊井 文人(北見工業大学)
- ・ 松原仁(東京大学)
- ・ 柳等(北見工業大学)
- ・ 山本雅人(北海道大学)